

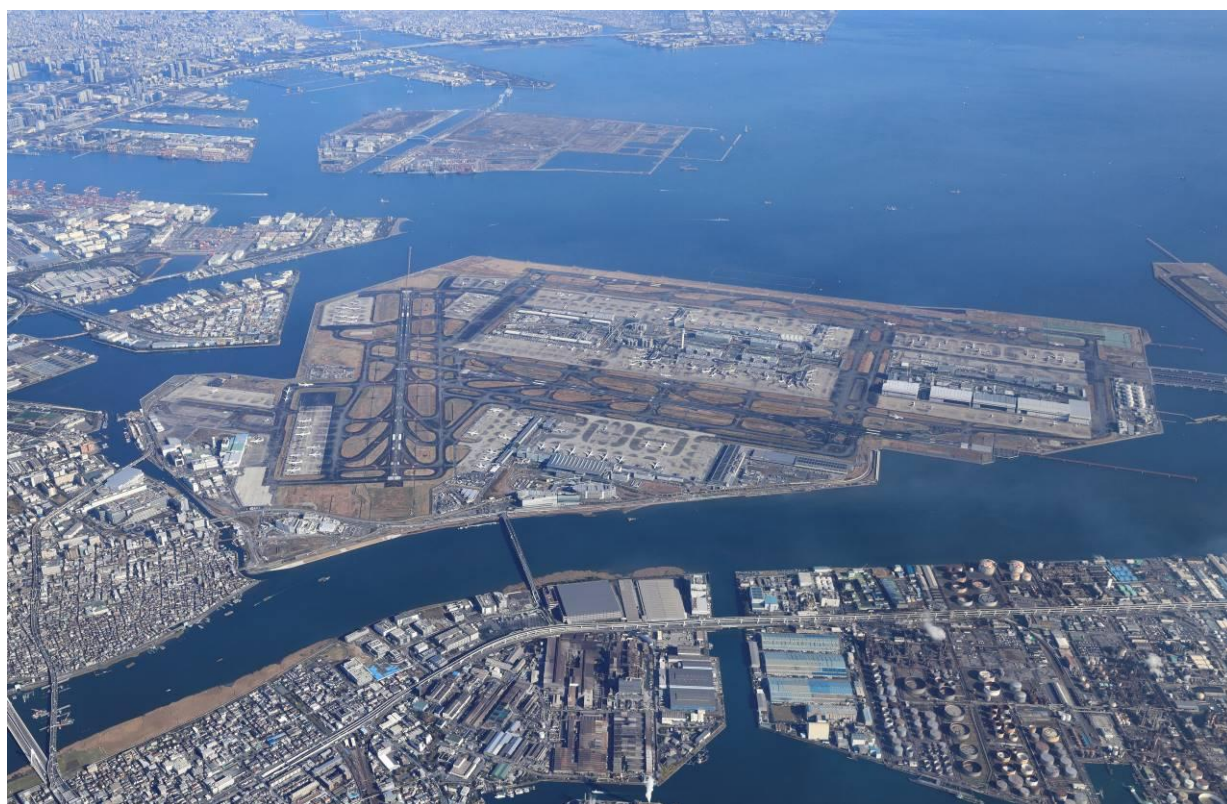
まちづくり環境委員会

令和4年7月15日

空港まちづくり本部 資料1番

所管 空港まちづくり課

令和4年度 事業概要



空港まちづくり本部

令和4年度 空港まちづくり本部 の目標

空港まちづくり本部では、HANEDA GLOBAL WINGS（羽田空港跡地）第1ゾーンにおいて、着実な事業推進を図るとともに、「新産業創造・発信拠点」の形成に向けた取り組みを進め、大田区を含む地域の活性化及び国際競争力の強化につなげていく。併せて、第1ゾーン整備事業について、対外的な情報発信を行い、区民の理解がさらに高まるよう積極的な広報活動を実施する。

また、羽田空港の機能強化に伴う新飛行経路の運用に関しては、区民の生活環境や安全の確保を前提として、関係機関との連携を図りながら、空港と地域の共存共栄を目指す。

新型コロナウイルス感染症については、引き続き状況把握に努め、ポストコロナを見据えながら必要に応じて事業の進め方の見直しも検討していく。

個別目標

1 HANEDA GLOBAL WINGSのまちづくり

(1) 羽田イノベーションシティにおける公民連携事業の推進

- ◆「新産業創造・発信拠点」の形成を目指し、引き続き、公民連携により事業を推進する。
- ◆第一期事業に関し、2023年開業エリアの運営事業者との調整をきめ細かく実施し、令和5年度の円滑な開業に向けた着実な準備を進める。
- ◆SPCへの適切なモニタリングを引き続き実施し、50年間にわたる区内波及の創出に向けた自立的な事業サイクルの構築を促進する。
- ◆スマートシティの構築については、庁内や事業者と連携して、実証実験や研修会の実施を通じた事業の推進やスマートシティの有用性等について理解促進を図る。
- ◆区の広報媒体を活用した第1ゾーン整備事業の情報発信と理解促進に強力に取り組み、HiCityの認知度向上と人流の創出を図る。

(2) 都市計画道路・公園・緑地などの整備及び憩いと賑わいのある空間創出

- ◆都市基盤施設の整備については、土地区画整理事業の施行者であるURと緊密な連携、関係者との協議・調整を行い、区街4号・5号関連整備、多摩川沿い宅地盛土等を工程どおり進める。
- ◆都市計画公園の整備についてはマーケットサウンディングの実施、関係機関協議を踏まえた公募条件を整理し、公募関連資料を作成する。
- ◆都市計画公園予定地においてはUR都市機構と連携し、ファン育成、理解促進等に向けた取り組みを実施する。
- ◆都市計画公園予定地の北側宅地について関係機関との協議・調整を進め、都市計画変更決定し、事業認可を取得する。
- ◆第2ゾーン河口部の多摩川親水緑地拡張整備および既設護岸改修整備については、関係機関等の協議・調整を進め、緑地実施設計、河川施設の占用手続きおよび維持管理協定締結を完了する。
- ◆多摩川水辺における河川空間のオープン化や憩いと賑わいの創出に向けた社会実験等を実施し、今後の水辺の利活用にフィードバックできるように、結果を取りまとめる。

2 羽田空港対策

- ◆羽田空港の機能強化に伴う新飛行経路の運用に当たり、国は区からの要望等を踏まえ、騒音軽減等の対策を講じているが、今後も、示された対策の確実な実施や、更なる対策の強化及び徹底とともに、適切かつ丁寧な情報提供や情報公開の充実を求めていく。
- ◆ゴーアラウンド等の従前からある課題に関して、引き続き騒音影響減少への要請等に取り組む。
- ◆羽田空港の運用に関する国の動向や対応等について、引き続き情報収集や分析に取り組み、地域や議会等への情報提供を継続して実施する。

組 織 図

空港まちづくり本部

令和4年4月1日現在



職 員 配 置 状 況

職 員 配 置 状 況

空港まちづくり本部

令和4年7月1日現在

職務名 所 属	事務		一 般 技 術						小 計		嘱 託 員	非 常 勤	合 計		
	一 般 事 務		土 木 技 術		建 築 技 術		機 械 技 術							電 気 技 術	
		うち 再任用		うち 再任用		うち 再任用		うち 再任用		うち 再任用		うち 再任用			
空港まちづくり本部	14	(1)	6	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	21	(1)	0	0	21
管 理 職	4	(1)	2	(0)							6	(1)			6
空港まちづくり担当	10	(0)	4	(0)	1	(0)					15	(0)			15

※管理職のうち2名兼務

事務分掌

空港まちづくり本部

令和4年4月1日現在

課・係(担当)名		分掌事務
空港まちづくり課	空港まちづくり担当係長	① 部の政策立案、事業執行方針、事業計画及び事業の進行管理に関する事 ② 部の事務事業の改善に関する事 ③ 行政組織及び職員定数に関する部の総括に関する事 ④ 部の事業に係る調査研究に関する事 ⑤ 議会に関する他部との連絡調整に関する事 ⑥ 部の庶務に関する事 ⑦ 予算及び決算に関する部の総括に関する事 ⑧ 他部との連絡調整に関する事 ⑨ 危機管理に関する事 ⑩ 議会に関する部の総括に関する事 ⑪ 空港対策に関する事(他の主管に属するものを除く。) ⑫ 空港跡地利用に関する事

予算

【事業概要】

- 区民の生活環境、安全の確保を前提として、空港と地域の共存共栄を目指し、羽田空港対策に取り組めます。
- 世界と地域をつなぐゲートウェイとして国内外のヒト・モノ・情報を呼び込むとともに、大田区のものづくり技術、優れた日本の文化などの魅力を発信する「新産業創造・発信拠点」の整備を進めていきます。

1 羽田空港対策 154万9千円

2 羽田空港沖合展開跡地利用の促進 3億9,593万3千円

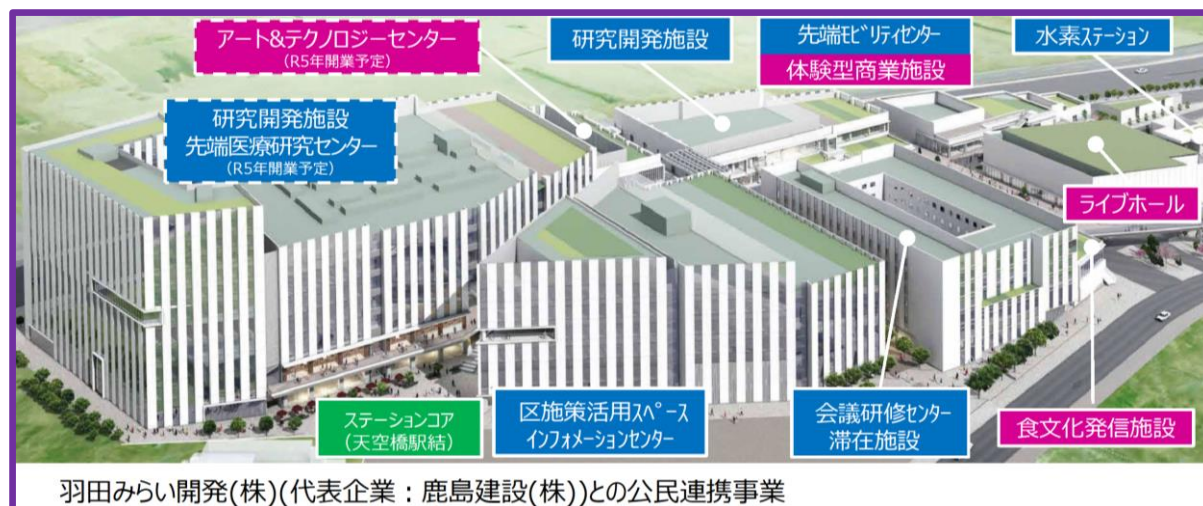
第1ゾーン整備事業

区では、公民連携による事業の促進と基盤施設整備の推進により、区内産業の活性化はもとより日本全体の経済成長に寄与するまちづくりを目指し、平成27年7月に、「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」を策定しました。整備方針では、国内外のヒト・モノ・情報呼び込むとともに、産業交流のための機能を集積させ、公民連携により「新産業創造・発信拠点」の形成を図ることとしています。

■羽田イノベーションシティ

平成28年10月、羽田空港跡地第1ゾーン整備方針に基づき「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（第一期事業）募集要項」により事業者を公募し、平成30年5月には、応募グループが設立した特別目的会社（羽田みらい開発株式会社）と事業契約を締結しました。令和元年には、この第1ゾーン（第一期事業用地）のまちの名称を「羽田イノベーションシティ」としています。令和2年7月にはまち開きし、9月から本格稼働となりました。また、第Ⅱ期工区エリアについて、令和3年7月に建設工事に着手し、令和5年の全施設開業に向けた取り組みを確実に進めていきます。

スマートシティの構築については、羽田イノベーションシティで運行する自動運転バスを羽田空港第3ターミナルまで延伸し、運行の定常化及びMaaSなど、新たなサービスの実施に向けた公道での運行の実証実験を行いました。今後も、区内や事業者と連携して、実証実験や研修会を実施し、地域課題の解決に向け、スマートシティの構築を行っていきます。



■土地区画整理事業

平成29年5月から、UR都市機構の施行による土地区画整理事業において、造成や道路などの都市基盤施設整備工事が進められています。令和2年5月に、一部道路の供用を開始し、7月には羽田イノベーションシティの開業に合わせて、天空橋駅前の交通広場の供用を開始しました。引き続き、区は事業の進捗管理や関係機関との協議・調整を行い、都市基盤施設の整備等を進めていきます。



■都市計画公園整備・運営

第1ゾーンに憩いとにぎわいを創出する都市計画公園については、アイデア公募や意見交換会等を踏まえた「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック（素案）」作成、パブリックコメントを経て、同コンセプトブックを策定しました。また公園予定地については、宅地（約1.3ha）を都市計画公園とする都市計画変更手続きを進めます。

併せて、整備・運営事業者公募に向けた検討に取り組んでいきます。

●公園の使い方想像図

区民のニーズを基に、公園の使い方をイラスト化



第2ゾーン緑地整備事業

多摩川沿いにテラスや休憩施設、散策路などを整備した全長1.1kmの「ソラムナード羽田緑地」が、令和2年4月に全面開園しました。緑地の名称は、平成30年9月に実施した名称公募にて決定しました。さらなる河口部への親水緑地の拡張整備に向けて令和3年度には基本設計が完了し、都市計画変更の決定および事業認可を取得しました。令和4年度は実施設計及び関係機関協議を進め、着実に事業進捗を図ります。

◆羽田空港国内線定期便数状況表

(2021年冬ダイヤ)

空港名 \ 航空会社		JAL 日本航空	ANA 全日本空輸	SKY スカイマーク	ADO エアドゥ	SNJ ソラシドエア	SFJ スター フライヤー	計
1	新千歳	32	34	16	24			106
2	女満別	6			4			10
3	稚内		2					2
4	紋別		2					2
5	中標津		2					2
6	釧路	6	2		4			12
7	帯広	8			6			14
8	旭川	8			6			14
9	函館	6	6		4			16
10	青森	12						12
11	三沢	8						8
12	大館能代		6					6
13	秋田	8	10					18
14	庄内		8					8
15	山形	4						4
16	大島							0
16	八丈島		6					6
17	名古屋(中部)	4	2					6
18	富山		6					6
19	能登		4					4
20	小松	12	8					20
21	大阪	30	30					60
22	関西	6	10				10	26
23	神戸		4	14				18
24	南紀白浜	6						6
25	鳥取		10					10
26	米子(美保)		12					12
27	出雲	10						10
28	石見		4					4
29	岡山	10	10					20
30	広島	16	16					32
31	岩国		10					10
32	山口宇部	8	6				6	20
33	徳島	12	8					20
34	高松	16	12					28
35	高知	10	10					20
36	松山	12	12					24
37	北九州	8					22	30
38	福岡	34	38	24			16	112
39	熊本	16	10			10		36
40	長崎	12	8	6		8		34
41	佐賀		10					10
42	大分	12	8			8		28
43	宮崎	6	10			12		28
44	鹿児島	16	12	8		8		44
45	奄美							0
46	那覇	24	26	12		6		68
47	宮古	2	4	2				8
48	石垣	4	4					8
49	久米島							0
	計	384	382	82	48	52	54	1002

* 各航空会社の時刻表による

◆羽田空港国際線定期便数一覧

※発行日現在、国際線は新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な減便となっているため、便数等は記載していません。

時間帯	区分	国・地域	都市
昼間時間帯	アジア	韓国	ソウル（金浦）
		中国	大連
			北京（首都）
			北京（大興）
			青島
			上海（浦東）
			上海（虹橋）
			広州
			深圳
			香港
		台湾	台北（松山）
		タイ	バンコク
		シンガポール	シンガポール
		インドネシア	ジャカルタ
		フィリピン	マニラ
		ベトナム	ハノイ
			ホーチミン
		インド	デリー
	オセアニア	オーストラリア	シドニー
			メルボルン
	北米	アメリカ	シアトル
			ポートランド
			サンフランシスコ
			ロサンゼルス
			ミネアポリス
			シカゴ
			デトロイト
			ニューアーク
			ニューヨーク
			ワシントン
			アトランタ
			ダラス
			ヒューストン
			ホノルル
カナダ			トロント
		バンクーバー	
欧州		フランス	パリ
		イギリス	ロンドン
	ドイツ	フランクフルト	
		ミュンヘン	

時間帯	区分	国・地域	都市
昼間時間帯	欧州	イタリア	ローマ
		ロシア	モスクワ（シェレメチェボ）
			ウラジオストク
		フィンランド	ヘルシンキ
		デンマーク	コペンハーゲン
	中東	トルコ	イスタンブール
	21か国・地域	44都市	

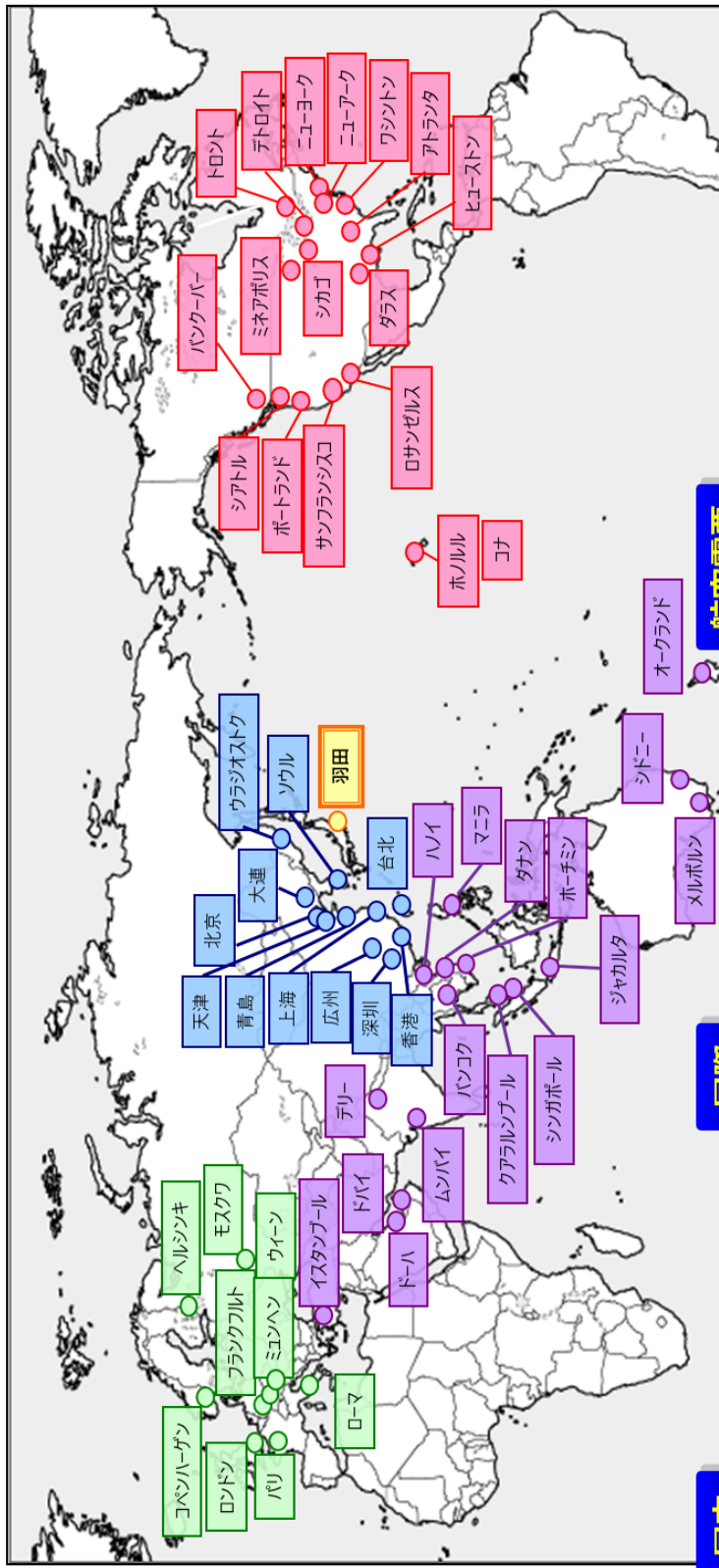
時間帯	区分	国・地域	都市
深夜早朝時間帯	アジア	韓国	ソウル（仁川）
		中国	天津
			上海（浦東）
		香港	香港
		台湾	台北（桃園）
		タイ	バンコク
		マレーシア	クアラルンプール
		シンガポール	シンガポール
		インドネシア	ジャカルタ
		フィリピン	マニラ
		ベトナム	ホーチミン
			ダナン
		インド	デリー
		ムンバイ	
	オセアニア	オーストラリア	シドニー
		ニュージーランド	オークランド
	北米	アメリカ	サンフランシスコ
			ロサンゼルス
			ニューヨーク
			ホノルル
			コナ
欧州	フランス	パリ	
	イギリス	ロンドン	
	ドイツ	フランクフルト	
	オーストリア	ウィーン	
	フィンランド	ヘルシンキ	
中東	カタール	ドーハ	
	アラブ首長国連邦	ドバイ	
	21か国・地域	28都市	

（令和3年10月末時点）

羽田空港のポテンシャル

羽田空港の数字

(東京航空局「管内空港の利用概況集計表」等より)



国内

- 就航都市数 **49都市**
(令和3年10月)
- 年間旅客数 **2,539万人**
(69,565人/日)
(令和3年)

国際

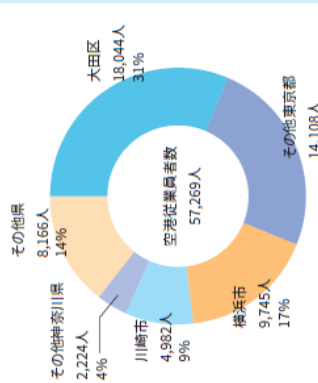
- 就航都市数 **53都市**
(令和3年10月)
- 年間旅客数 **72万人**
(1,979人/日)
(令和3年)

航空需要

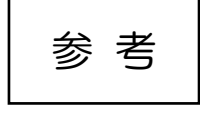
- 世界の空港別旅客数ランキング(2019) **5位**
- 羽田空港の発着枠 **48.6万回/年間**
- 訪日外国人旅行者数 **412万人**
(令和2年推計値)

●羽田空港勤務者の居住地

羽田空港に勤める従業員約57,000人の居住地を自治体別に見た場合、大田区が圧倒的に多く、全体の約3割を占めています。都県別の場合、東京都が56%、神奈川県が30%となっています。



※出典：国土交通省資料



※上の就航都市図等は令和3年10月末時点のもので、新型コロナウイルス感染症の影響により、現在運休・減便となっている路線もあります。

◆羽田空港の乗降客数（令和3年）

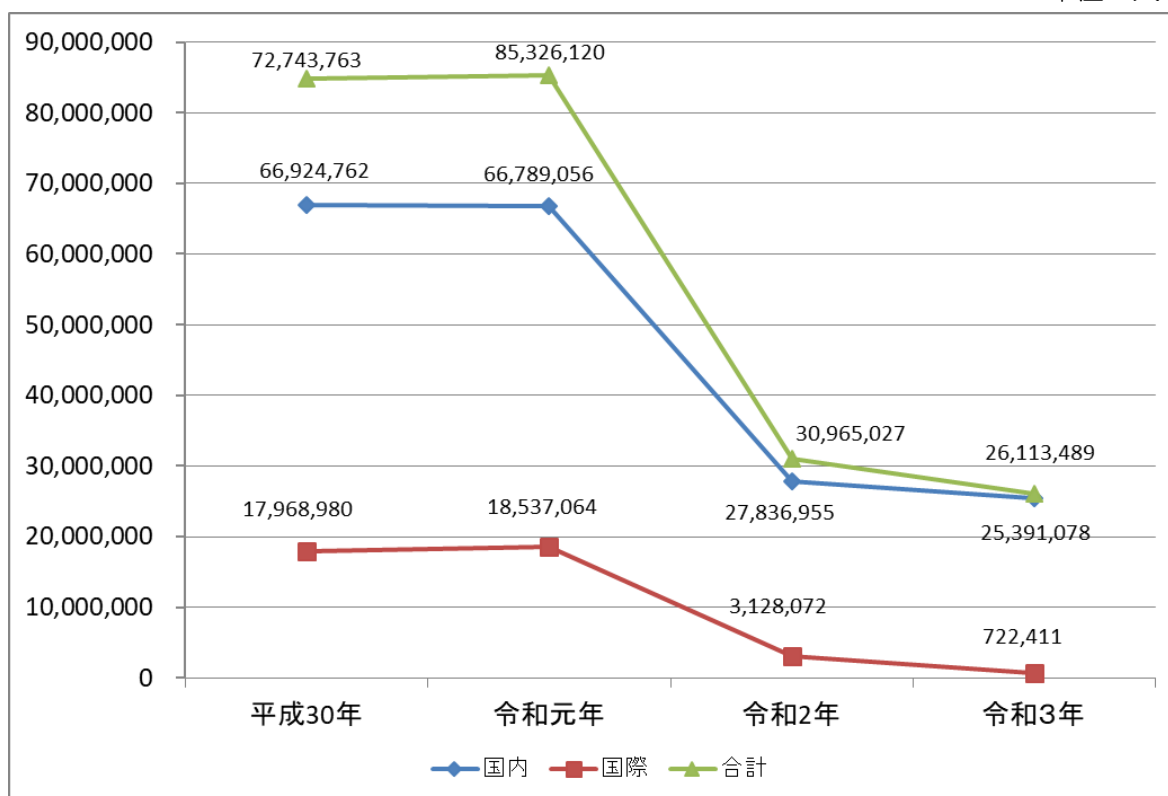
単位：人

	国内	国際	合計
1月	1,229,708	48,158	1,277,866
2月	1,156,118	27,556	1,183,674
3月	2,181,956	40,134	2,222,090
4月	1,814,292	44,179	1,858,471
5月	1,428,709	45,448	1,474,157
6月	1,476,645	56,899	1,533,544
7月	2,135,943	85,701	2,221,644
8月	2,172,946	96,742	2,269,688
9月	1,804,036	65,835	1,869,871
10月	2,720,692	59,649	2,780,341
11月	3,444,961	65,496	3,510,457
12月	3,825,072	86,614	3,911,686
合計	25,391,078	722,411	26,113,489

東京航空局「管内空港の利用概況集計表」から作成

◆羽田空港の乗降客数推移（平成30年～令和3年）

単位：人



国土交通省「空港管理状況調書」等から作成

◆羽田空港貨物取扱（令和3年）

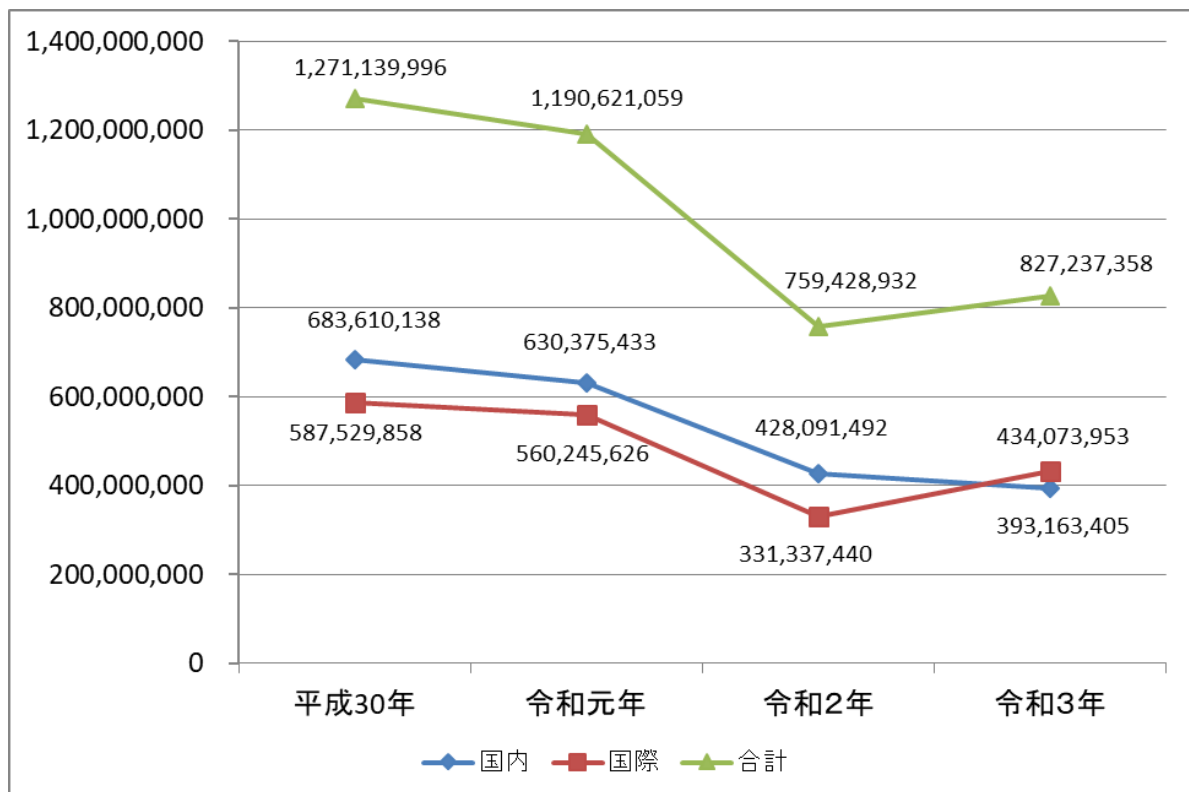
単位：kg

	国内	国際	合計
1月	30,269,679	30,966,908	61,236,587
2月	27,519,632	31,724,586	59,244,218
3月	34,128,626	40,931,912	75,060,538
4月	31,606,585	41,340,243	72,946,828
5月	27,758,112	38,895,556	66,653,668
6月	29,619,778	37,996,996	67,616,774
7月	35,402,127	34,968,315	70,370,442
8月	31,081,011	35,537,169	66,618,180
9月	31,002,582	34,891,329	65,893,911
10月	33,381,404	35,741,963	69,123,367
11月	34,655,162	35,895,060	70,550,222
12月	46,738,707	35,183,916	81,922,623
合計	393,163,405	434,073,953	827,237,358

東京航空局「管内空港の利用概況集計表」から作成

◆羽田空港貨物取扱推移（平成30年～令和3年）

単位：kg



国土交通省「空港管理状況調書」等から作成